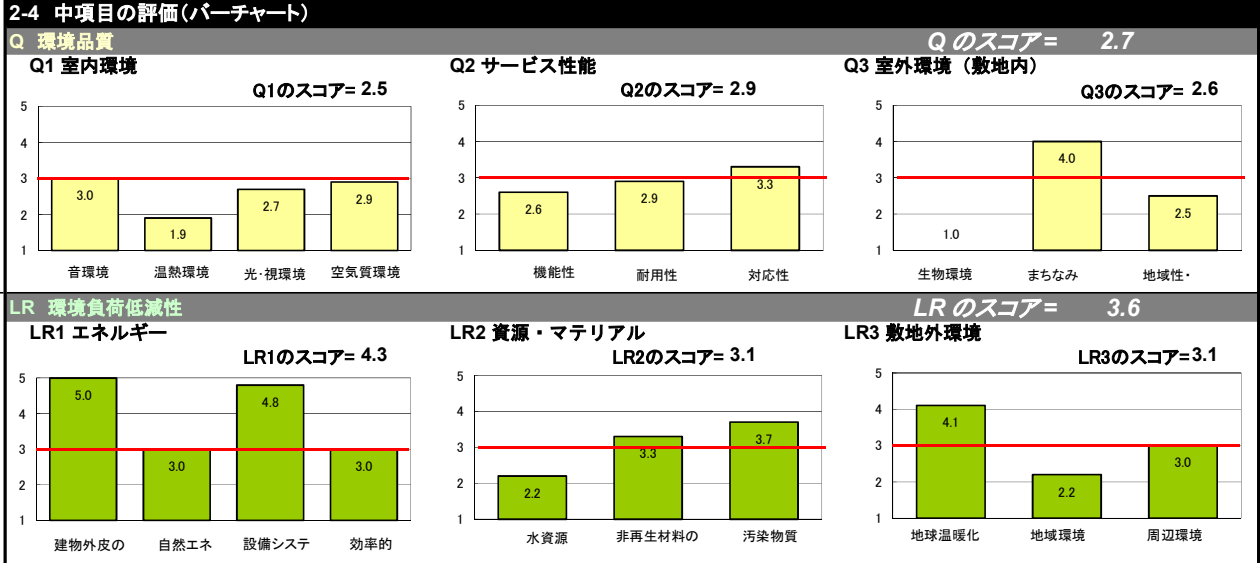
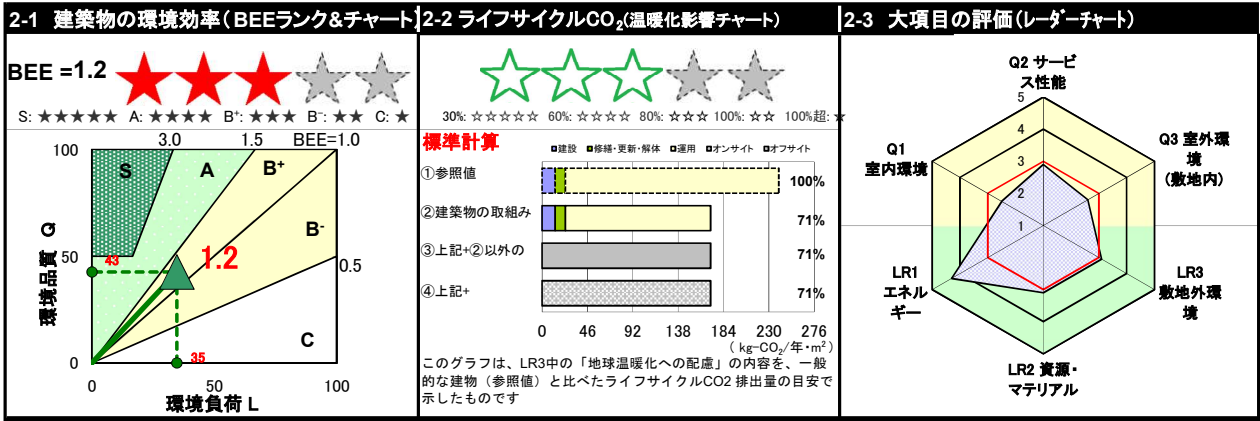
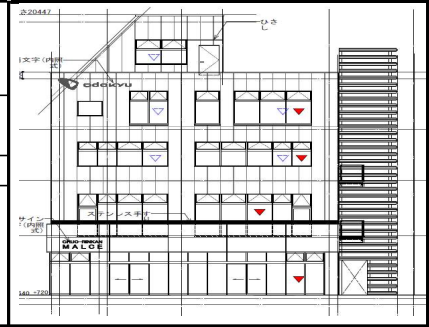


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮)中央林間東口商業施設	階数	地上5F
建設地	神奈川県大和市中央林間4丁目4355-2	構造	S造
用途地域	近隣商業地域、準防火地域	平均居住人員	200人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920時間/年(想定値)
建物用途	学校、飲食店、病院、等	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2025年3月 予定	評価の実施日	2023年11月8日
敷地面積	865 m ²	作成者	株式会社小田急エンジニアリング 一級建築士事務所
建築面積	537 m ²	確認日	2023年11月17日
延床面積	2,082 m ²	確認者	株式会社小田急エンジニアリング 一級建築士事務所



3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>中央林間駅から歩きで約1分の近隣商業地域に商業計画した。</p>		<p>その他</p> <p>特になし。</p>
<p>Q1 室内環境</p> <p>JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。建築物衛生法を満たす換気量の1.4倍以上(学校用途部分)。2.5% ≤ [昼光率]。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>売場の天井高3.6m以上。ステンレスダクトを使用している。給水VLP(B)、給湯SUS(C)、排水VP(B)、Eは不利用。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>特になし。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>BPI_m=0.59。BEI_m=0.68。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>躯体+軽鉄+仕上げ材により、躯体と仕上げ材が容易に分別可能。ODP=0、GWP=1の発泡剤を用いた断熱材を採用。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>ライフサイクルCO₂排出率が71%。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される